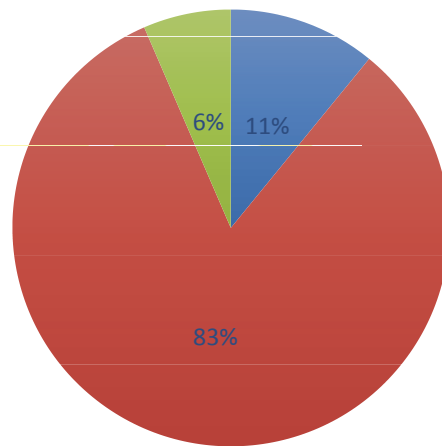


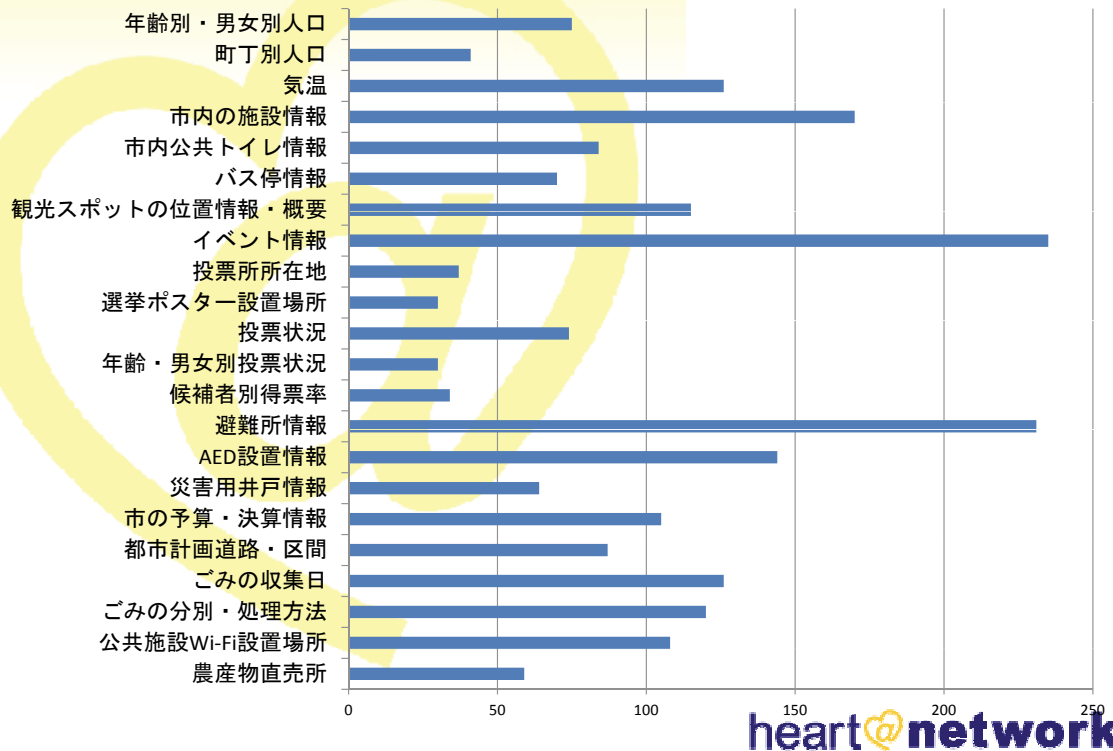
ニーズ調査アンケート集計結果

①オープンデータを知っていますか？

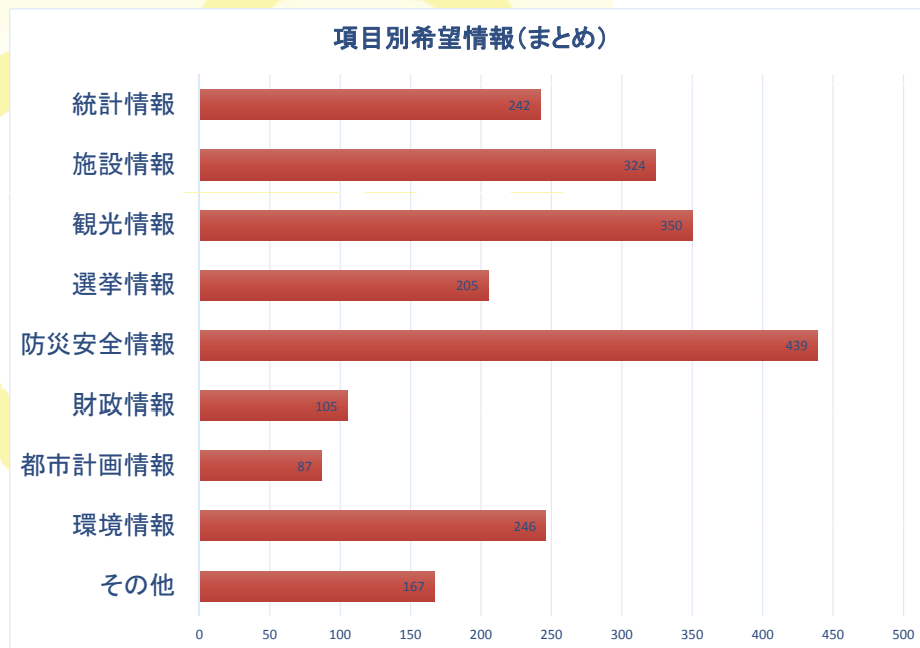


■ 知っている
■ 知らなかった
■ 言葉は聞いたことがある 回答数:353

ニーズ調査アンケート集計結果



ニーズ調査アンケート集計結果



ニーズ調査アンケート集計結果

アンケート結果による「その他希望の公開データ」

- ・ガソリンスタンド
- ・駐車場
- ・おいしい人気の店
- ・予約情報
- ・店の定休日、営業時間
- ・コンビニの場所
- ・自動販売機の設置場所
- ・地震速報
- ・心霊、開運スポットの位置情報、概要
- ・近くの病院情報
- ・医療関係(市民として)
- ・授乳施設の情報(観光客として)
- ・図書館の本貸出し状況、新刊情報
- ・工事(道路)情報
- ・各種気象データ
- ・海面情報
- ・子ども用トイレのある場所
- ・医療関係
- ・公園の設備、遊具案内
- ・選挙のやり方
- ・保育園の空き情報
- ・婚活パーティー
- ・現状で良い
- ・公園
- ・税金の使い道
- ・病院(当番)

ニーズ調査アンケート集計結果

アンケート結果による「その他希望の公開データ」

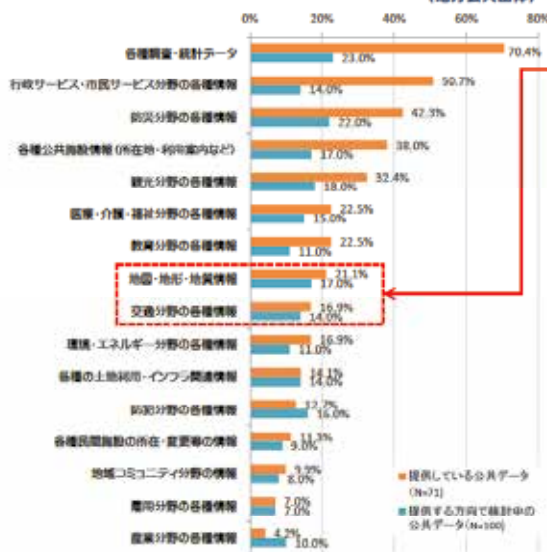
位置情報に関連付けられるもの

- ・ガソリンスタンド
- ・駐車場
- ・おいしい人気の店
- ・予約情報
- ・店の定休日、営業時間
- ・コンビニの場所
- ・自動販売機の設置場所
- ・地震速報
- ・心霊、開運スポットの位置情報、概要
- ・近くの病院情報
- ・医療関係(市民として)
- ・授乳施設の情報(観光客として)
- ・図書館の本貸出し状況、新刊情報
- ・工事(道路)情報
- ・各種気象データ
- ・海面情報
- ・子ども用トイレのある場所
- ・医療関係
- ・公園の設備、遊具案内
- ・選挙のやり方
- ・保育園の空き情報
- ・婚活パーティー
- ・現状で良い
- ・公園
- ・税金の使い道
- ・病院(当番)

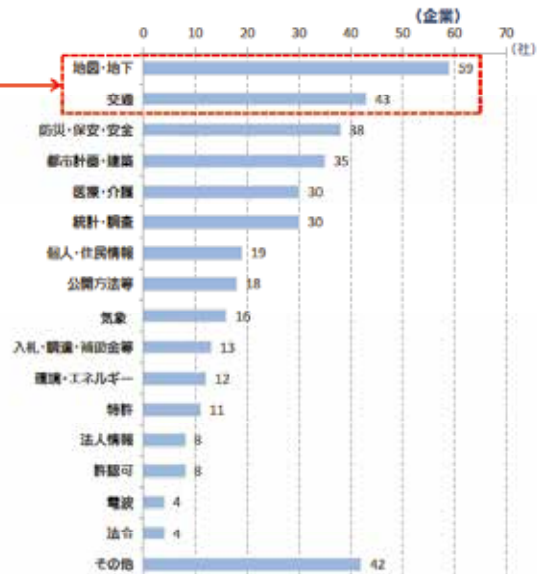
オープンデータニーズ 総務省データ

- 地方公共団体が提供に前向きな公共データは調査・統計データ、行政・市民サービス、防災分野、公共施設情報など。
- 企業が求める公共データは地図・地下、交通、防災・保安・安全など。
- 地図情報や交通情報では提供側と利用側の間にミスマッチがみられる。

【オープンデータとして提供中または提供を検討中の公共データ】
(地方公共団体)



【オープンデータのニーズが高い公共データ】
(企業)



※オープンデータを実施中または実施の方向で検討中と答えた地方公共団体への質問

総務省「平成26年版 情報通信白書」の概要より

自治体オープンデータガイドライン

■新居浜市が自治体としてオープンデータに取り組むにあたっての課題

一般的な話として

- ・データは「生もの」であって、常に最新状態を保持する必要があるため、維持管理・メンテナンスの業務が増える。
- ・公開したデータの悪用や改ざんがあった場合の心配等があるため、データを保有している各担当課(原課)が難色を示す場合が多いと聞いている。

新居浜市のオープンデータ化が実現したのは、

- ・平成26年度にホームページのリニューアルを予定しており、仕様書にはオープンデータ化を見越して計画していた。

公開したデータは、

- ・避難所データ(更新がほとんどない固定データ)
- ・人口統計データ(担当課は総合政策課であるが、定期的に情報政策課で住民基本台帳データから作成)

まずはできるところから開始することが大切

自治体のオープンデータへの取り組みについての課題

(1) 動機付け

	課題
きっかけ	・オープンデータを始めるきっかけがない ・現行のホームページでも十分といえない状況で新たに取り組むべきなのか
ニーズ	・どのようなデータが必要とされているのか分からない
リスク	・リスクが見えない
効果の見える化	・効果・メリットが見えない

「なぜやらなければならないのか？」
明確な動機付け

- ・国のオープンデータに係る政策が具体的に示され、加速してきている
- ・住民参加型のイベントが各地で開催され、社会全体にオープンデータが広まりつつある
- ・利用側は、地方公共団体がより多くの情報を二次利用可能な形で提供することを望んでいる
- ・地方公共団体の役割が明確にされている(電子行政オープンデータ戦略)

(2) 情報部門の役割

問題点	・庁内で主体的にオープンデータに取り組もうとする声が上がってくることは、あまり期待できない
対策	・初期のけん引役が必要 ・データの特性やセキュリティに関する知識があるため、庁内の調整役として情報部門が適任 ・取り組みの初期段階は、スピード感を重視して情報部門が主体的に取り組みを進め、実績を重ねつつ庁内の理解を得る
補足	・すでにホームページで公開済みのデータをオープンデータの対象とすれば庁内からの異論も少ない

自治体のオープンデータへの取り組みについての課題

組織的な取り組みへの展開

(1) トップの理解を得る

問題点	・オープンデータの意義や必要性、将来性が理解されていない ・組織全体の認識を高められない
対策	・「電子行政オープンデータ戦略」や関連資料を元に説明する ・先進事例や効果が分かりやすい事例を示す ・情報の資産的価値を説明する
補足	・事例をもってトップの理解を求めるボトムアップの手法も考えられる

(2) 職員の理解を得る

問題点	・オープンデータに取り組む意義や目的が分からない ・オープンデータがもたらす効果が分からない ・データの悪用や改ざんに不安がある ・データの維持管理に係る負担が増えるのではないかと ・オープンデータと情報公開制度との違いが分からない ・公開を意識したデータ作りをしていない
対策	・オープンデータの取組に対する誤解を解く ・公開中のデータからオープンデータ化に着手する ・情報公開制度との違いを明確にする

自治体のオープンデータへの取り組みについての課題

技術的手法の選択

(1) 利用者への配慮

問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のデータ加工のスキルが不足している ・公開されたデータを分析することによって個人が特定できる可能性がある ・精度が低いと活用につながらない
対策	<ul style="list-style-type: none"> ・データ加工の手順を作成する

(2) オープンデータ作成の基本的な指針を明確にする

問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな形式が適しているのか分からない ・どんな項目が必要なのか分からない
対策	<ul style="list-style-type: none"> ・5段階評価※を基準にデータの形式を定める (Excel形式、CSV形式、XML形式等) ・データ作成における基本事項を定める

※Tim Berners-Lee提唱「5 Star Open Data」

自治体のオープンデータへの取り組みについての課題

業務プロセスの検討 (オープンデータを業務レベルで取り組む場合の課題)

(1) 管理責任を定める

問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・公開したデータについて、どんな責任を持つのか分からない ・二次利用に関する利用規約が無い ・著作権の表示について取決めが無い ・データを保有している担当部署が分からない
対策	<ul style="list-style-type: none"> ・民間のライセンス等を利用する(CCライセンス) ・データの所管部門を明確にする ・公開に伴う責任の範囲について明確にする

(2) 公開ポリシーを定める

問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・公開先が統一されていない ・公開までのプロセスが統一されていない ・公開の可否判断を誰がするのか決まっていない ・現行法上、データを公開してもいいのかわからない
対策	<ul style="list-style-type: none"> ・公開までのプロセスを設計する ・公開を承認するフローを定める ・システムにオープンデータ化の機能を組み込む
補足	<ul style="list-style-type: none"> ・法に基づき作成、収集した情報については、取扱いを規定している場合もあるため、公開に当たっては、関連法規の整理は必要である

(3) 更新ポリシーを定める

問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・データが常に最新とは限らない ・全て網羅されているとは限らない ・公開されたデータの維持を誰がやるのか決まっていない
対策	<ul style="list-style-type: none"> ・データの性質を分析して、更新の間隔を定める ・データの維持・管理の役割分担について定める

自治体のオープンデータへの取り組みについての課題

オープンデータの利活用促進

(1) ニーズを把握する

問題点	<ul style="list-style-type: none">・利用者がどんなデータをもとめているのか分からない・明確な利用者のニーズを把握できていない
対策	<ul style="list-style-type: none">・アイデアソンやハッカソンなどのイベントを開催する・行政事務を見直し、ニーズを発掘する

(2) データを把握する

問題点	<ul style="list-style-type: none">・どんなデータがあるのか分からない・データの量が膨大なため、すぐに公開できない・何から取り掛かったらいいのかわからない
対策	<ul style="list-style-type: none">・保有している情報を洗い出す・先進事例のデータを参考にする
補足	<ul style="list-style-type: none">・利用する側の検索性を高めるために、オープンデータを集約したページを作成し、必ずそこに掲載するなどのルールを決める。あるいは、公開されているデータのカatalogを作るなど「有益な情報入手の容易化」を図ることが必要

自治体のオープンデータへの取り組みについての課題

オープンデータの利活用促進

(3) 外部に取り組みを周知する

問題点	<ul style="list-style-type: none">・地方公共団体が取り組んでいることが知られていない・どんなデータが利用できるのかわからない
対策	<ul style="list-style-type: none">・トップがオープンデータの取り組みを公式に発表する・Link Dataなどの普及団体のポータルサイトを利用する

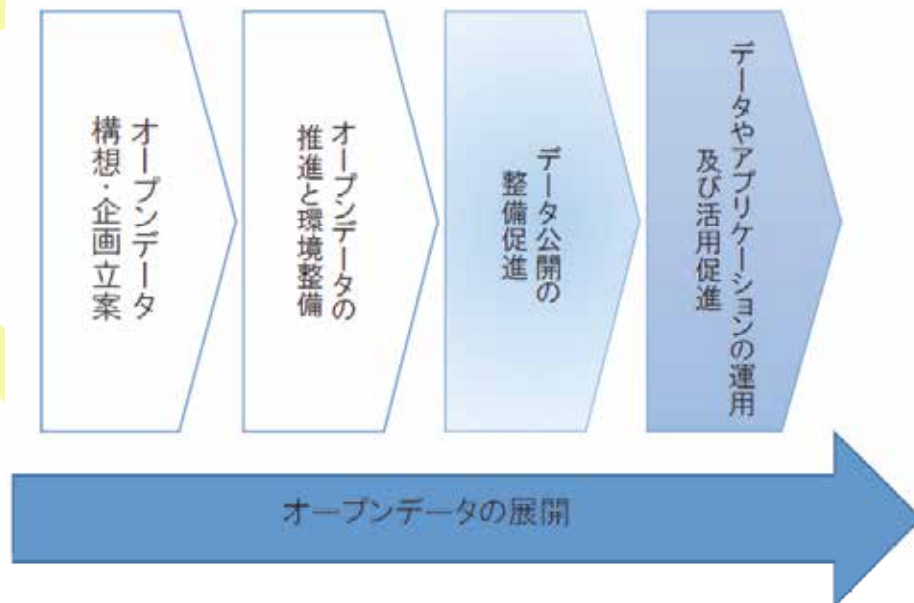
(4) 利活用を促す

問題点	<ul style="list-style-type: none">・データを使うアプリ開発、新ビジネス創出の支援が不足・地域に技術者が不足している・都市部と地方ではデジタル格差があり、地域住民の利活用が期待できない
対策	<ul style="list-style-type: none">・アプリコンテストやワークショップを開催する・技術者とデータをつなぐ機会を演出する

自治体のオープンデータへの取り組みについての課題

自治体のオープンデータ化フェーズ

自治体がオープンデータを実施する場合に想定されるオープンデータ化のフェーズ



heart@network ³⁵

これまでの情報公開との違いと影響

- ・オープンデータ推進に対する考え方
 - ・オープンガバメント実現の前提
 - ・行政, 地域住民, 民間組織の意識改革
- ・行政サービスに対する考え方
 - ・人口減少により生じる予算圧縮⇒業務縮小
 - ・住民, 民間企業との協働
 - 直接投資から間接投資に
- ・知的財産権に対する考え方
 - ・行政の財産から公共財に悪用に対する対策

heart@network ³⁶

オープンデータの5段階ステージ(公開のレベル)

- ☆ 2次利用可能なルールの適用(PDF)
- ☆☆ 特殊フォーマット(Excelなど特定のソフトウェア)
- ☆☆☆ 汎用フォーマット(CSV)
- ☆☆☆☆ ネット透過型(JSON, URI形式)
- ☆☆☆☆☆ 統合・複合型(オンラインデータの組み合わせ)



heart@network ³⁷

「オープンデータの5つの段階(出典:★)」と、データ形式

段階	公開の状態	データ形式 例	参考) Linked Open Data 5star
1段階	オープンライセンスの元、データを公開	PDF, JPG	OL - Open License (計算機により参照できる (可読))
2段階	1段階に加え、コンピュータで処理可能なデータで公開	xls, doc	RE - Readable (Human & Machine) (コンピュータでデータが編集可能)
3段階	2段階に加え、オープンに利用できるフォーマットでデータ公開	XML, CSV	OF - Open Format (アプリケーションに依存しない形式)
4段階	Web標準 (RDF等) のフォーマットでデータ公開	RDF, XML	URI - Universal Resource Identifier (リソースのユニーク化、Webリンク)
5段階	4段階が外部連携可能な状態でデータを公開	LoD, RDF スキーマ	LD - Linked Data (データ間の融合情報が規定。検索可能)

人が理解
するための
公開文書
(編集不可)

公開文書
(編集可)

機械判読
可能な
公開データ

オープンデータの5つの段階

出典: ★ Open Dataのサイト (<http://5stardata.info/>) およびTim Berners-Lee氏のLinked Dataに関する提言ページ (<http://www.w3.org/DesignIssues/LinkedData.html>) を参考に作成。

heart@network

既に普及しているオープンデータ活用サイトの例

LinkData



<http://linkdata.org/>

LinkData.orgはデータ・アプリ・アイデアの作成と公開を支援するプラットフォーム。

「テーブルデータの変換と公開をサポートする [LinkData](#)」,
 「アプリケーションの作成と公開をサポートする [App.LinkData](#)」,
 「アイデアを公開してつなげることをサポートする [Idea.LinkData](#)」,
 「地域資源の情報の共有とコミュニティ育成をサポートする [CityData](#)」
 の4つのwebサイトを提供

LinkData.orgでは日本版DATA.GOVなどの行政系一次オープンデータの流通基盤が整備されたことを受け、一次オープンデータからさらに付加価値の高い二次加工データを創造する市民(データクリエイター)を支援して、行政の人材不足をデータ編纂の面から市民が補えるようにすることを目指している。

heart@network³⁹

既に普及しているオープンデータ活用サイトの例

公共データだけでなく、地域の情報を共有するための取り組み

地域資源の情報をオープンデータとして共有していくためのデータバースライツ

全ての市町村

評価指数ランキング

総合評価 | データセット数 | アイデア数

長野県須坂市	556	49	23
福井県鯖江市	421	84	11
神奈川県横浜市	390	36	45
福島県会津若松市	368	33	29
長野県長野市	208	22	5
福井県越前市	204	//	6
秋田県横手市	204	29	11
長野県駒ヶ根市	204	28	19
愛知県名古屋	202	28	13

全ての市町村

- 北海道
- 東北
- 関東
- 中部
- 関西
- 中国地方
- 四国

40
work